

協力

58

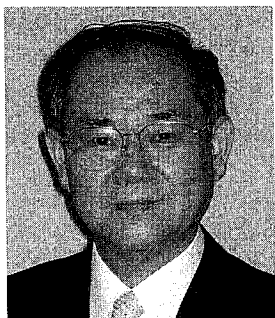


伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.gospeljapan.com/dd/

FRONT ESSAY

時が満ち、 神の国は 近くなった



伝道団体連絡協議会 会長
姫井雅夫

先日、総動員伝道で研修会を開きました。テーマは「21世紀の伝道を各教団はどのように取り組もうとしているか」というものでした。同じテーマで、毎月発行している機関紙に各教団に執筆していただいています。教団内部のこともあるので、当然、人事、機構改革、財政のことに関心があります。しかし、全日本を視野に入れると内側のことだけで済まされなくなります。教会員が高齢化し、数年経つと若い人が加わってこない限り、会員数は減る一方です。同じことが教職にも言えます。高齢化した牧師達が辞任していくと、後を継ぐ若手の教職がいません。当然の結末が待っています。つまり教会を閉鎖することになるのです。

企業で考えれば、弱体化した企業は買収されるか、統廃合を行ないます。つまり合併です。閉鎖間近な教会は、近くの教会と合同するか、合併してでも存続していかねばならないでしょう。ところが教派・教団を超えて考えていくことが難しいのです。

私たちのような超教派の伝道団体は主の導きによって生み出され、その働きの使命を時代と共に果たし終えたら、閉鎖していくことになるでしょう。確かにいくつかの教会が毎年閉鎖しています。でも教会は伝道団体とは存在の性格が違います。なんとか閉鎖しなくて済むように、やむをえなければ近くの教会と合併して礼拝を守り続けていくことが出来るように、と願います。

そのためには常日頃から、教派・教団の壁を低くし、あるいは取り払って、交わり、理解を深めておく必要があります。

日本には大きく分けて、NCC系、JEA系、NRA系などの区分があるように思います。これらが互いに交わりを持ち、主にあってひとつであることを証し出来ればと思うのです。でもそれぞれの違いがあつて分かれています。ですから歴史認識をしっかりと踏まえた上で、統合、合併の可能性を協議する土壌を作っておかねばならないでしょう。

2009年は、日本でのプロテスタント宣教150周年を迎えます。記念行事を企画するにも教派・教団を超えて相談する必要があるでしょう。上記のことを考え、協議するのに、丁度よい時期ではないでしょうか。

聖書は「時が満ち、神の国は近くなった」（マルコ1:15）と言っています。悔い改めと福音を信じるようにとの伝道に励まなければなりません。

主よ。日本にある教会を憐れみ、伝道団体を祝してください。

こころの友伝道 全国連合会



ソウル国際大会
(2006.8.28-30)

A. 沿革 歴史

こころの友伝道の働きは1951年に発足し今日に至りました。この間社会の変遷に伴い日本伝道のために種々対応しつつ、1969年、訪問伝道全国連合会が創設され毎年この運動の推進のため全国大会を開催。第44回より「こころの友伝道」と改称しました。

B. 本会の基本と実際

(1) 「こころの友伝道」の三つの基本

- (一) 福音の宣教は教会に託された使命であり、キリスト者は時代の問題を共に担いつつ、この使命に召されています(マルコ16:15-18、詩96:1-13)。
- (二) 「こころの友伝道」は牧師と信徒が互いにパートナーとなり、その祈りと協力によるチームワーク伝道です(フィリピ2:18-21、ヨハ21:15-17)。
- (三) 「こころの友伝道」は信徒が福音を求める人々の心の友となり、責任をもって導く伝道奉仕です(ヨハネ15:13-15、箴言18:24)。

(2) 「こころの友伝道」の五つの実際

- (一) こころの友伝道奉仕者の資格(エレミヤ1:1-10)は①忠実な教会員であること②こころの友伝道のために使命を感じる③福音の恵みに共にあずかる姿勢をもつこと。
- (二) こころの友伝道奉仕者は生活設計(1コリント4:1-3)を作成する。
- (三) 奉仕者はチームで協議して求道者を受け持つ(イザヤ40:1-11)。
- (四) 奉仕者の活動内容は(イザヤ43:1-7)①求道者のために毎日祈る②礼拝出席のために祈り電話、手紙、メール等で接触をとる③接触の状況等を牧師に報告し指導を受ける。
- (五) 定期的に奉仕者の育成(箴言3:1-13)プログラムに参加する。



第34回こころの友伝道 講習会にて
(2006.5.5 於 横浜岡村教会)



C. 現在の活動

現代、人々は魂の対話者を必要としています。一対一で友として愛の交わりを持ち人格的に魂に触れキリストに導くことが求められています。この度韓国においてもその必要が認められソウル国際大会が開催されました。国内では7支部があり、各支部講習会、また07年8/20(月)~22(水)伊豆天城山荘で第54回「こころの友伝道」全国大会を開催します。詳細についてはテキスト「こころの友伝道の手引き」(頒布価200円)と月刊「こころの友伝道」誌があります。その他連絡先は下記です。

「こころの友伝道」全国連合会事務所

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-11 日本基督教団新宿西教会内
TEL & FAX 03-3200-5584 Eメール kokoro54@galaxy.ocn.ne.jp
全国連合会々長 日本基督教団 東京新生教会 牧師・横山義孝

topics

福音・学生・若者
キリスト者学生会 (KKGK)
高校生連帯伝道協会 (H-HUB)
75キヤンパス・クルセード
ノー・クライスト

リンクを強く!

伝団協ホームページリニューアル

伝道団体連絡協議会<=伝団協>とは

教会の伝道活動を応援するために「伝道団」があります。1つの教会に、あるいは専門的な知識や媒体を必要とする働きのために教会を補佐する団体が、それが超教派の伝道団体です。それには文芸・テレビなどの媒体を擁する団体や学生・ビジネスマンなど対象別の団体など多くの種類の団体があります。各団体の働きをご紹介します。伝道団体を利用していただき、伝道団体に支障くいただき、お祈りください。

〒101-0062 東京都千代田区神田麹町河合2-1 0CC 614号室
Tel. 03-3291-5035

代表 堀井雅哉

NEWS ぜひお楽しみください!

●伝団協研修会「教会外クリスチャンと伝道」
2006.11.18 (土) 10:00-20:00 朝飯
※詳細は、掲載誌「協力」でお知らせいたします。(2006.11.18発行)



新しい伝団協のホームページ。(イメージ)
トップページでは、伝団協のニュースを掲載します。左のウィンドウの団体名をクリックすると、紹介を見ることができます。

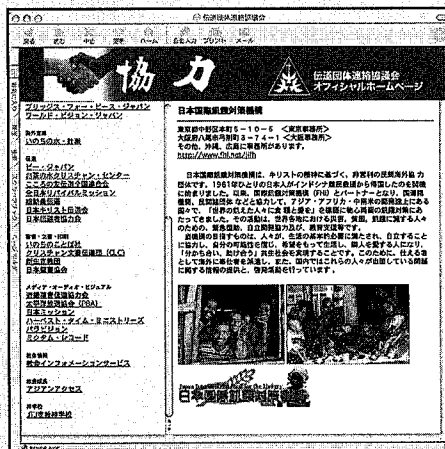
伝団協はどのようにインターネットを活用していけば良いのか、今年2月に行われた研修会で学びの時が持たれ、役員会でも話し合われてきました。そして伝団協や加盟団体の働きについて、さらに多くの人に知っていただくために、ホームページを大幅にリニューアルすることとなり、その準備が進められています。当初は10月に新装オープンする予定でしたが、遅れており、ご迷惑をおかけしています。

新しいホームページでは、各加盟団体の働きについて、写真と文を掲載して簡単に紹介するようにしました。加盟団体の皆様には、情報提供にご協力いただき、ありがとうございます。随時新しい情報を掲載していきたいと考えていますので、変更等ありましたら、お知らせください。またホームページをお持ちの場合は、加盟団体紹介ページから、団体のページを開くことができるようになりました。また、ホームページをお持ちでない団体の情報も積極的に掲載してサポートしていきたいと思っていますので、どしどし情報をお寄せください。

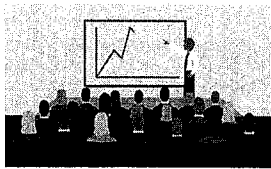
トップページでは、伝団協のニュースなどを掲載して、最新情報を皆様にお届けします。総会・研修会・情報交換会などのお知らせも随時掲載していきますので、ご覧くださって、積極的に集会にご参加くだされば幸いです。

伝団協は加盟団体のために、加盟団体によって形成されている「協力会」です。インターネットを通してお互いの団体がさらに強い「リンク」でつながれて、同じ一つの目的のために協力がなされたら、それはキリストの体が建て上げられていくことであり、そこに主の力が現されていくのではないのでしょうか。

新しいホームページが早く機能するように、そして用いられるように、お祈りください。



各団体を写真と文で簡単に紹介しているページです。団体のホームページがある場合は、ここから開くことができます。



2006年度 伝団協研修会(セミナー)のお知らせ

日時 2006年11月18日(土)
午前10:00～午後17:00(受付:午前9:30～)
会場 お茶の水クリスチャン・センター 415号
参加費 1,500円(昼食代含む)

<テーマ>

「日本のクリスチャン人口は1%。ギャップ調査では6%と言われているが、このギャップをどう受け止めたらよいか。」

伝団協はどのように、この5%の差を考え受け止めたらよいか、講師の方々と共に考え、皆さんと協議をし、方向性を見いだしたいと思っております。大変興味ある課題だと思っておりますので、ふるってご参加ください。大いに意見交換をしたいと思っております。

<講師>

中島秀一師 (荻窪栄光教会牧師)
久保田文吾氏 (リバイバル新聞編集長)
花蘭征夫氏 (教会インフォメーション・サービス代表)

<プログラム>

10:00-10:30 開会礼拝 セミナーの趣旨説明
10:30-12:00 各講師の発題 (3人の講師×持ち時間30分)
12:00-13:00 昼食(交わり)
13:00-15:00 フリートークキング・質疑応答・現状把握
15:00-15:30 ティータイム
15:30-17:00 3人の講師のまとめ
17:00 閉会礼拝

<申し込み先>

Tel.03-3291-5035 Fax.03-3291-5266
sodoin@ybb.ne.jp

11/10(金)締切です。
会費は当日にお支払いください。

研修会担当: 浅見鶴蔵

